

作成日 : 2018 年 1 月 10 日
改訂日 : 2023 年 11 月 29 日

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称 : ユニソルダーL
会社名 : YAMAKIN株式会社
住所 : 〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町3番7号
電話番号 : 06-6761-4739
FAX番号 : 06-6761-4743

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

健康に対する有害性

- ・眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分 2B
- ・皮膚感作性 : 区分 1
- ・特定標的臓器毒性
単回ばく露 : 区分 1 (呼吸器系)
反復ばく露 : 区分 1 (眼、呼吸器 (吸入)、肺)

環境に対する有害性

- ・水生環境有害性 (急性) : 区分 2
- ・水生環境有害性 (慢性) : 区分 2

ラベル要素

- ・表示 :



- ・注意喚起語 : 危険
- ・危険有害性情報 : 眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
呼吸器系の障害
長期または反復ばく露による眼、呼吸器 (吸入)、肺の障害
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

- ・安全対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
保護手袋を着用すること。

- 取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
- ・ 応急措置 : 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、吸収しやすい姿勢で休息させること。
目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
汚染された保護衣を再利用する場合は洗濯すること。
目の刺激が持続する場合は、医師の判断、手当を受けること。
気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師の判断、手当を受けること。
皮膚刺激があれば、医師の判断、手当を受けること。
 - ・ 保管 : 容器を密封して換気の良い場所で施錠して保管すること。
乾燥した冷暗所に保管すること。
 - ・ 廃棄 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【3. 組成及び成分情報】

単一製品・混合の区別 : 混合物（合金）

成分及び含有量 :

化学物質名	化学式	含有率 wt%	CAS No.
銀	Ag	24.0	7440-22-4
スズ	Sn	73.0	7440-31-5
亜鉛	Zn	3.0	7440-66-6

【4. 応急措置】

- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を速やかに洗浄すること。
多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の手当て、診断を受けること。
- 吸入した場合 : 被災者をただちに空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。

【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : この製品自体は燃焼しない。
 周辺火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : データなし
- 特有の危険有害性 : 火災によっては刺激性、又は毒性のガス、ヒュームを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用すること。

【6. 漏出時の措置】

- ・人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急時措置 : 関係者以外の立ち入りを禁止する。
 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、服、皮膚への接触や吸入を避ける。
- ・環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。
- ・封じ込め及び
 浄化の方法／機材 : できるだけ飛散しないようにして、空容器等に回収する。
 取扱い場所の近傍での飲食の禁止。
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。
- ・二次災害の防止策 : データなし

【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い
- ・技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
 - ・局所排気／全体換気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
 - ・接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」に記載の接触回避を行う。
 - ・安全取扱注意事項 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙しないこと。
 漏洩防止のため、容器を転倒、落下、衝撃を与えないこと。
- 保管
- ・技術的対策 : 保管場所には、本製品を貯蔵及び取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設定を設ける。
 - ・保管条件 : 施錠して保管すること。
 乾燥した冷暗所に保管すること。
 - ・容器包装材料 : 包装、容器の規制は無いが密閉式の破損しないものに入れること。

【8. ばく露防止及び保護措置】

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 :

成分	化学式	日本産業衛生学会 (2023年版) 許容濃度 mg/m ³	ACGIH (2021年版) 許容濃度 TLV-TWA mg/m ³
銀	Ag	0.01	0.1
スズ	Sn	-	2
亜鉛	Zn	1(R)* 4(T)	-

*: 第2種粉じん、R: 吸引性粉じん、T: 総粉じん

設備対策 : 空気中の濃度を奨励された許容濃度以下に保つために、工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用する。取り扱い場所の近くに、眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

- ・呼吸器の保護具 : 粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
- ・手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。
- ・眼の保護具 : 適切な保護眼鏡、顔面保護具を着用すること。
- ・皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。

衛生対策 : 取扱い後は、よく手を洗うこと。

【9. 物理的及び化学的性質】

- ・物理状態 : 板状
- ・色 : 銀白色
- ・臭い : データなし
- ・融点/凝固点 : 374°C
- ・沸点又は初留点及び沸
点範囲 : データなし
- ・可燃性 : データなし
- ・爆発下限界及び上限界 : 非該当
- ・引火点 : 非該当
- ・自然発火点 : 非該当
- ・分解温度 : 非該当
- ・pH : 非該当
- ・動粘性率 : 非該当
- ・溶解度 : データなし
- ・n-オクタノール/水分配
係数 : データなし
- ・蒸気圧 : データなし
- ・密度及び/又は相対密度 : 8.1g/cm³
- ・相対ガス密度 : 非該当
- ・粒子特性 : データなし

【10. 安定性及び反応性】

安定性・反応性	: 通常の状態では安定である。
危険有害反応の可能性	: 混触危険物との接触不可。 アセチレン化合物により衝撃に敏感な化合物が形成される。 酸化剤と反応し、爆発の危険をもたらす。 乾燥時、アンモニアと接触すると爆発性化合物を生成することがある。
避けるべき条件	: 混触危険物との接触、粉じんの拡散、帯電、加熱
混触危険物質	: 強酸類、強塩基類、アセチレン、酸化剤、アンモニア（乾燥時）、ハロゲン、硫黄
危険有害な分解生成物	: 有毒なヒューム、引火性の高い水素ガス

【11. 有害性情報】

急性毒性	: 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な 損傷性/刺激性	: 眼刺激（区分 2B、Ag、Zn として）。
呼吸器感作性または 皮膚感作性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ（区分 1、Ag として）。
生殖細胞変異原生	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性	
単回ばく露	: 呼吸器系の障害（区分1、Agとして）。
反復ばく露	: 長期又は反復ばく露による眼、呼吸器（吸入）、肺の障害（区分1、Ag、Snとして）。
誤えん有害性	: データなし

【12. 環境影響情報】

生態毒性	
水生環境有害性（急性）	: 区分 2（Zn として）
水生環境有害性（慢性）	: 区分 2（Zn として）
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

【13. 廃棄上の注意】

- ・ 残余廃棄物 : 有価金属再利用のため回収し、リサイクル業者に委託する。
- ・ 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

【14. 輸送上の注意】

国際規制

- ・海上規制 : 非該当
- ・航空輸送 : 非該当
- ・国連分類 : 非該当

国内規制

- ・陸上輸送 : 非該当
- ・海上輸送 : 非該当
- ・航空輸送 : 非該当

安全対策

: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法 : 法令 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9
137 (銀及びその水溶性化合物)
322 (すず及びその化合物)

化学物質管理促進法

(PRTR 法) : 第一種指定化学物質
第 82 号 (銀及びその水溶性化合物)

特定化学物質の環境への
排出量の把握等及び管理
の改善の促進に関する法
律

- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 大気汚染防止法 : 非危険物
- 船舶安全法 : 非危険物
- 航空法 : 非危険物
- 港則法 : 非危険物
- じん肺法 : 非該当

【16. その他の情報】

本製品は用途の変更や一般家庭での使用は避けてください。注意事項、通常の手配を対象としたものであり特別の手配をする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施してください。また、記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。

【参考文献】

- ・(独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) ホームページ
- ・職場の安全サイト ホームページ
- ・日本産業衛生学会 許容濃度の勧告 (2023 年度)

・ ACGIH-TLVs and BEIs (2021)

【改訂履歴】

00	2018	年	1	月	10	日	初版
01	2023	年	11	月	29	日	2版